

# 高めよう! 「見守り力」

～高齢者・障害者の消費者被害を防ぐために～



高齢者や障害者等、社会的弱者の消費者被害が急増しています。高齢者や障害者は自分自身で被害にあっていることに気が付かなかつたり、自ら相談することが少ないために発見が遅れ、被害が拡大する傾向が高いと言われています。このため未然防止や、早期発見をするには、地域社会全体で見守り、支援することが求められています。



**【見守り力】** 気付く→声かけ→確認→  
関係機関につなぐ について、主人公（コンビニ店長）の体験を通して考えてみましょう。

高齢者・障害者に関する幅広い方々の会合や社内研修で、また自習用として、ご利用いただくことができます。

# 高めよう! 「見守り力」

## 基礎編 4チャプター分け

### エピソード

1 約6分

#### 小さな気付きが第一歩

故郷の母が消費者被害にあっている?!

主人公のコンビニ店長は町内会長から見守りのポスターの掲示を依頼されましたが、他人事でした。そんな矢先、故郷の母が消費者被害にあっているらしいと、実家のご近所から連絡が入ります。



### エピソード

2 約7分

#### 「気付き」を「つなぐ」

母は見守りのおかげで、被害が回復できました。

主人公は母が気になり帰省。近所の人、ヘルパー、民生委員、地域包括支援センターの気付きによって、消費生活センターに相談することができ、母の被害の一部が回復されました。主人公は、このことから、見守りの重要性を知ります。



### エピソード

3 約8分

#### 「声かけ」は小さな勇気から

勇気を出して声をかけ、被害が防げた!

主人公は、ATMの前でまごつく高齢者に気が付きます。迷った末、勇気を出して声をかけました。高齢者は最初は怪訝な態度でしたが、騙されていたことに気がつき、被害にあわずに済みました。



### エピソード

4 約5分

#### みんな消費者、みんなで見守ろう

知的障害者・発達障害者の場合

常連客である障害者施設職員と軽度の知的障害者が、店内の高齢者の見守りのポスターを見て、体験を語り始めます。これを聞き、コンビニ店では、障害者も見守りが必要と気付きます。



## 応用編 Q&A 3チャプター分け

### 1 高齢者・障害者の消費者トラブルの現状と特徴 約4分

- Q1. 高齢者・障害者の消費者トラブルは増えているのですか?
- Q2. 高齢者が悪質商法に狙われやすいのはどうしてですか?
- Q3. 障害者の消費者被害には、どのような特徴がありますか?

### 2 高齢者・障害者の消費者被害と見守り 約7分

- Q4. どのような様子に気付けばよいのですか?
- Q5. 「声かけ」はどのようにすればよいのですか?
- Q6. 消費生活センターへのつなぎ方は?

### 3 消費生活センターの役割 約3分

- Q7. 消費生活センターはどんなことをしてくれるのですか?



7チャプターに分かれていますので、必要なところだけを見ることができます。「字幕あり」「字幕なし」の選択ができます。